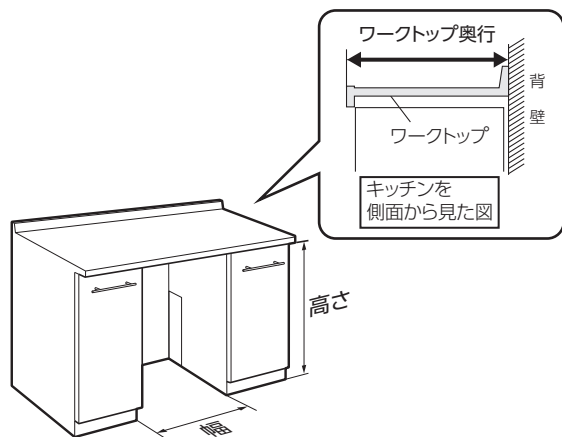


1 作業前の確認

■ 設置空間条件の留意点



ビルトイン寸法

ワークトップ奥行	650 mm ^{※1} 以上
キャビネット幅	450 mm 以上
床からカウンター下端までの高さ	807 mm ^{※2} 以上

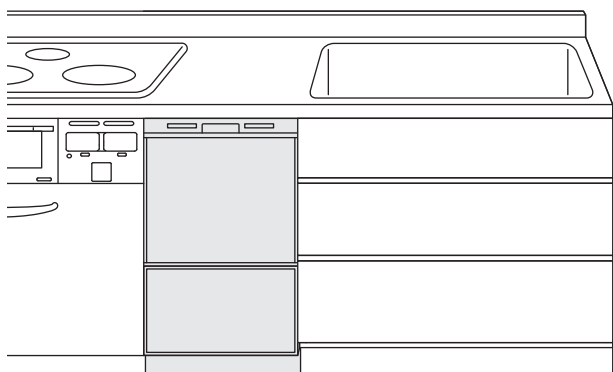
※1: 次の条件では、ワークトップ奥行600 mmのキッチンでも設置できる場合があります。
扉材の最大厚み21 mm + ライン取っ手スペース4 mm + 本体奥行551.5 mm = 577 mm

※2: クリアランス2 mmを考慮して、807 mm以上にしています。
食洗機本体の調整高さは805 ~ 865 mmです。

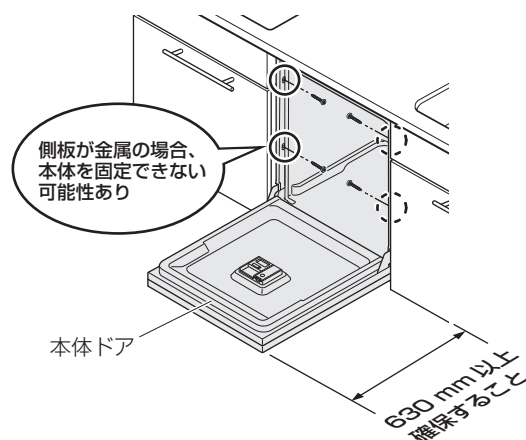
【ご注意】

食洗機の設置スペースに既設電源がある場合、シンク下に移設できるかどうか確認してください。

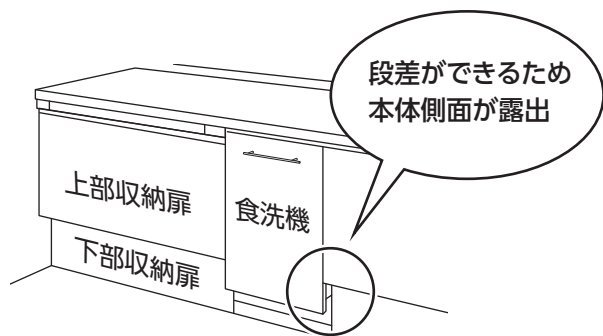
- 既設のプルオープンタイプ食洗機がシンクキャビネットの隣に設置されていないと設置できません。



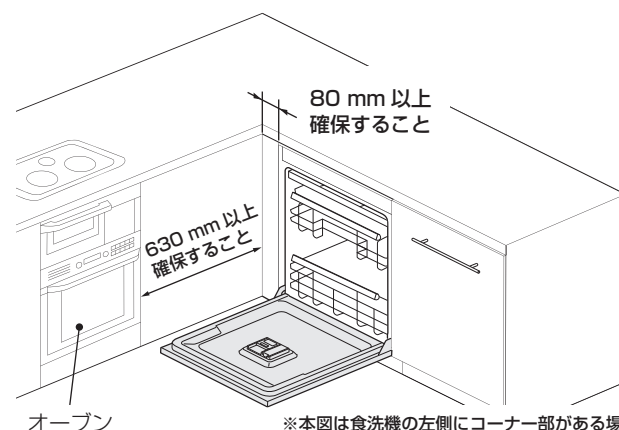
- キッチンの通路幅が630 mm以上必要です。
- キャビネットが木製または樹脂以外の場合、食洗機本体をネジで固定できず設置できないおそれがあります。



- 下部収納扉に対し、上部収納扉が飛び出したデザインのキッチンには設置できません。食洗機の扉を開く際に側面で手指を挟むおそれがあります。



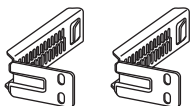
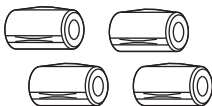
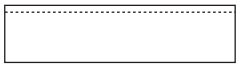
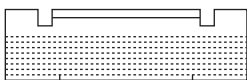
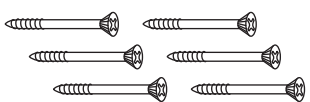
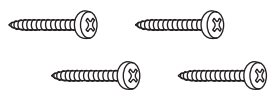
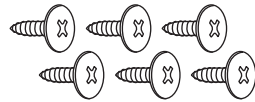
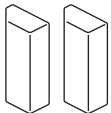
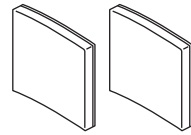
- L型コーナー部に設置する場合



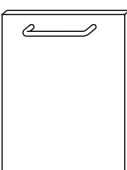
※本図は食洗機の左側にコーナー部がある場合の例です。右側にある場合も同様です。

■ 買替え施工の際に必ず使用する部品

- NP-45EF1WPE 同梱品

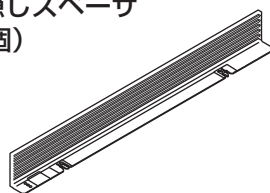
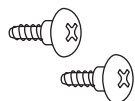
ケコミカバー 取付金具A (2個) 	側面固定用スリーブ (4個) 	面材仮固定金具 (2個) 
保護シート (面材用) (1枚) 	保護シート (ケコミ用) (1枚) 	保護シート (ワークトップ用) (1枚) 
面材固定用ネジ (42 mm : 6本) 	エルボ (1個) パッキン (1個) 	側面固定用ネジ (27 mm : 4本) 
ケコミカバー固定用ネジA (12 mm : 4本) 面材仮固定用ネジ (12 mm : 2本) 	側面パッド (2個) 	側面シート (2枚) 

- 別途準備品

食洗用扉 (ドア面材) 	ケコミカバー 
--	---

■ キッチンの高さに応じて使用する部品

- NP-45EF1WPE 同梱品

目隠しスペーサ (1個) 	目隠しスペーサ固定用ネジ (段付き 12 mm : 2本) 
---	--

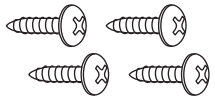
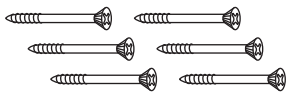
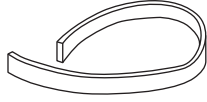
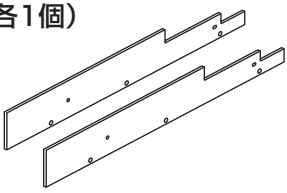
1 買替え施工の手順

NP-45EF1WPE

幅45^{cm}
機種

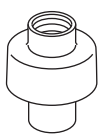
■ ライン取っ手のドア面材を独自で手配する場合に使用する部品

- NP-45EF1WPE 同梱品

面材仮固定用ネジ (ライン取っ手スペーサ使用時) (16 mm : 4本) 	面材固定用ネジ (ライン取っ手スペーサ使用時) (46 mm : 6本) 	ドアクッションA (t5 : 1個) 
ドアクッションB (t3 : 1個) 	ライン取っ手スペーサ (左右各1個) 	

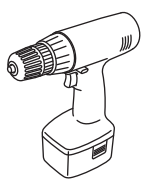
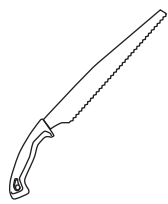
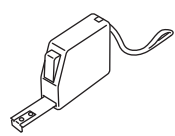
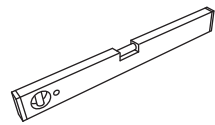
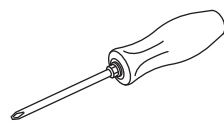
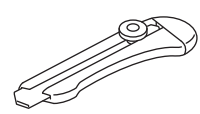
■ 買替え施工の際には使用しない部品

- NP-45EF1WPE 同梱品

臭気止めパッキン (1個) 
--

■ 主要工具類

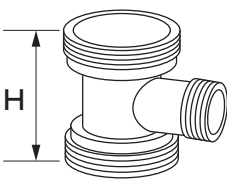
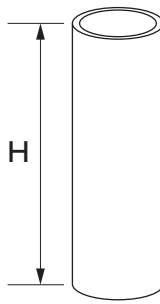
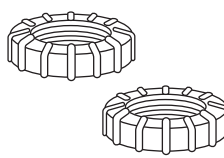
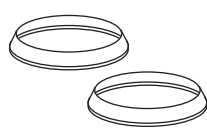
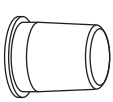
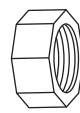
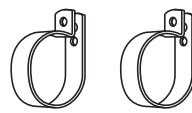
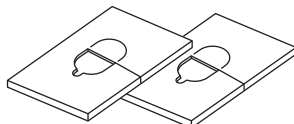
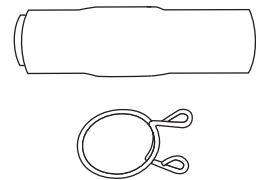
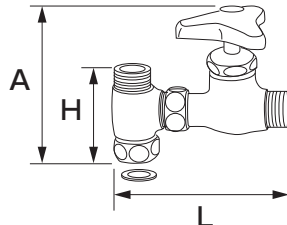
- 施工に必要な主要工具類です。事前に準備をお願いします。

電動ドライバー・ 電動ドリル 	ノコギリ 	モンキーレンチ 	スケール 
水準器 	ドライバー 	カッターナイフ 	

買替え施工の際に必ず使用する施工関連部材

● パナソニック製フロントオープン食器洗い乾燥機設置用給排水接続キット(N-KH51)*

• N-KH51 同梱品

排水チーズ (1個) H=84 (部品単品するとき) H=96 (2インチナットを上下に取り付けているとき)  (PF1/2インチネジ)	排水管 (1個) (VP40)  H=160	2インチナット (2個) 	三角パッキン (2個) 
1インチインナー (1個) パッキン付 	1インチナット (1個) 	ホースホルダー (2個) 	ネジ 4×12 (2本) 
ホースアナカバー (2個) 	ホースバンド (小) (1個) 	ホースジョイント (1個) ホースバンド (1個) 	分岐止水栓(G1/2)(1個) パッキン (1個) 全体長さ L = (99.5) 全体高さ A = (86) チーズ部 H = (45) 

※ 隣接するシンクキャビネットに分岐止水栓(給湯管または給水管)及び排水配管 (HT20) が施設されている場合、N-KH52を使用できます。詳細は「N-KH52 排水接続キット取付設置ガイド」を参照ください。

N-KH51

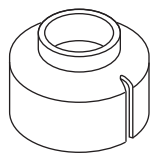


N-KH52



プルオープンタイプからフロントオープンタイプへの買替え施工の際には使用しない施工関連部材

• N-KH51 同梱品

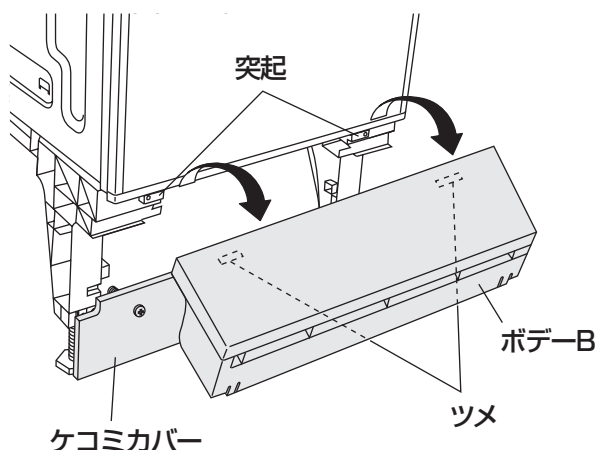
ハイスイホースホルダー (1個) 	ホースバンド (大) (1個) 
--	---

2 現状機器の取り外し・引き抜き

●既設ディープタイプを台枠ごと撤去する場合

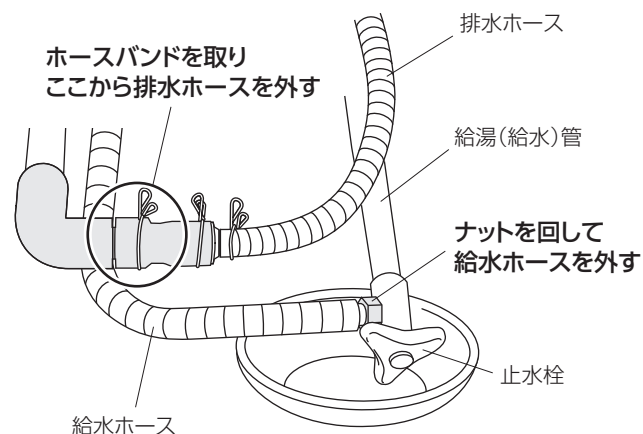
1 点検口（ボデー B）の取り外し

- 1) 点検口（ボデー B）を取り外します。
- 2) ケコミカバーを取り外します。



2 給・排水ホースの取り外し

- 1) 止水栓を完全に閉め、給・排水ホースを配管から外します。

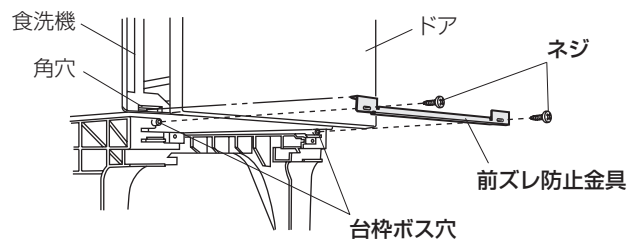


【ご注意】

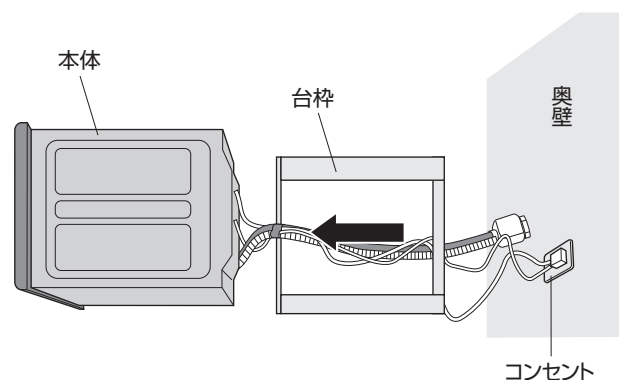
ホース内の残水で床を濡らすおそれがありますので、受け皿やウエスを用意してください。

3 現状機器の引き抜き

- 1) 前ズレ防止金具を取り外します。



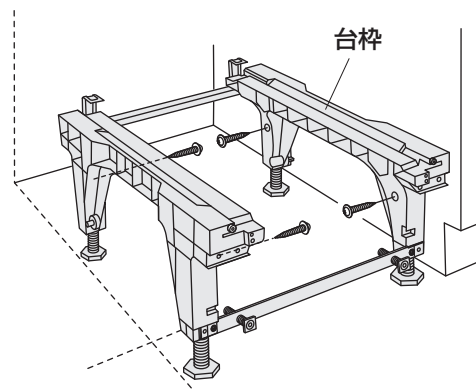
- 2) 食洗機本体を持ち、水平方向に引き出します。



- 3) 電源プラグ・アース線を外します。

4 台枠の撤去

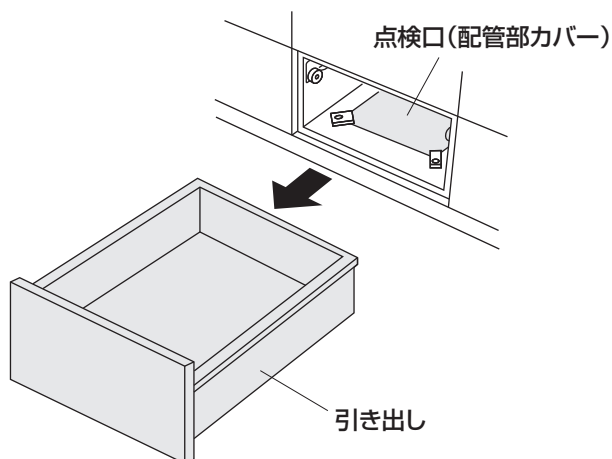
- 1) 隣接のキャビネット、または床への固定箇所をすべて取り外して台枠を撤去します。



●下部収納キャビネットを撤去して既設ディープタイプ、既設ミドルタイプから入れ替える場合

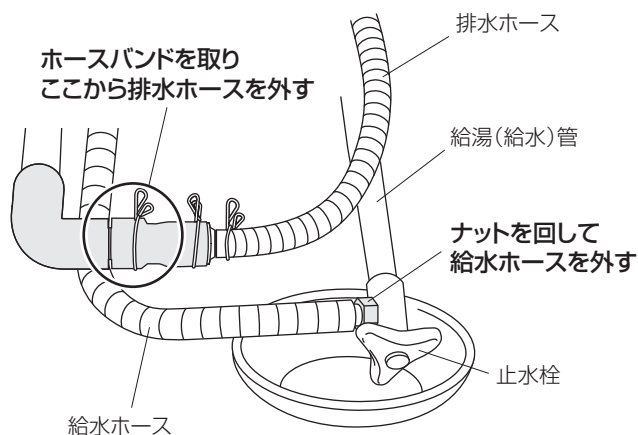
1 点検口(配管部カバー)の取り外し

- 1) 下部収納部の引き出しを取り外します。
- 2) 底部にある点検口(配管部カバー)を取り外します。



2 給・排水ホースの取り外し

- 1) 止水栓を完全に閉め、給・排水ホースを配管から外します。

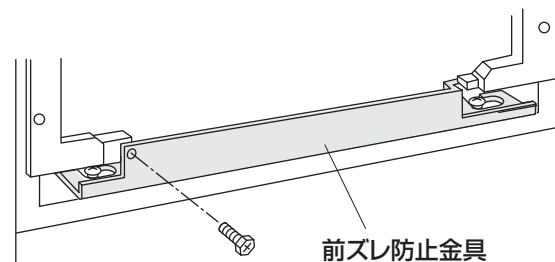


【ご注意】

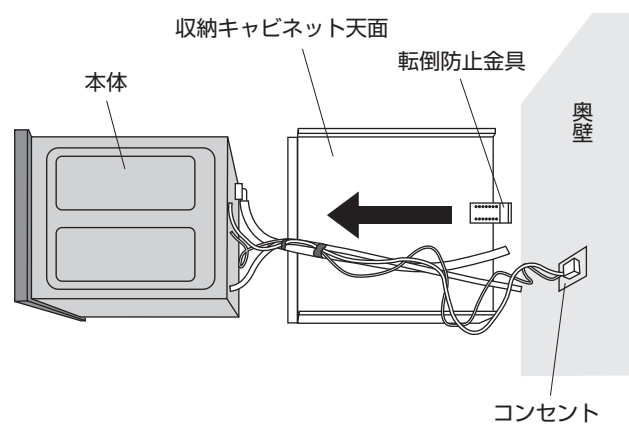
- ・ 下部収納の形状によって、給排水接続部の位置が、引き出しの奥にある場合もあります。
- ・ ホース内の残水で床を濡らすおそれがありますので、受け皿やウエスを用意してください。

3 現状機器の引き抜き

- 1) 前ズレ防止金具からネジを取り外します。
- 2) 前ズレ防止金具を右へずらして取り外します。



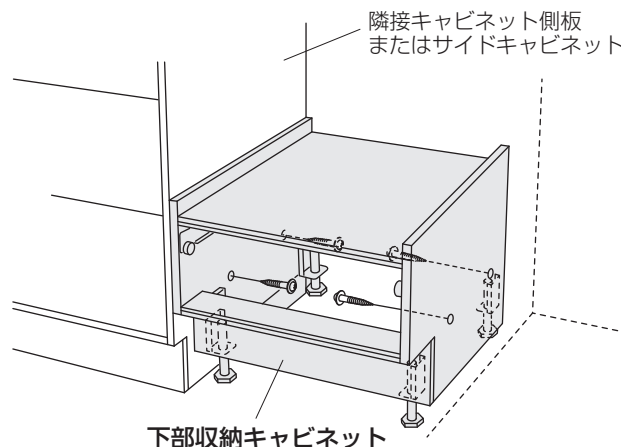
- 3) 食洗機本体を持ち、水平方向に引き出します。



- 4) 電源プラグ・アース線を外します。

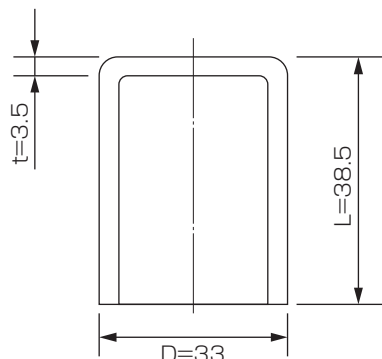
4 下部収納キャビネットの撤去

- 1) 隣接のキャビネット、または床への固定箇所をすべて取り外して下部収納キャビネットを撤去します。



3 排水管周りの仕舞い処理

事前に市販の TS キャップをご用意ください。



呼径 20 のキャップを選定してください。

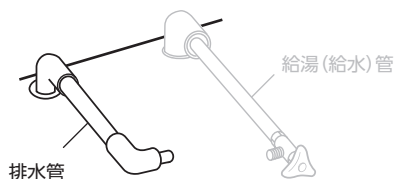
参考) TS キャップ I 型 (JIS K 6743)

呼径	記号	D	t	L
20		33.0	3.5	38.5

排水管の設置パターンに応じて設置します。

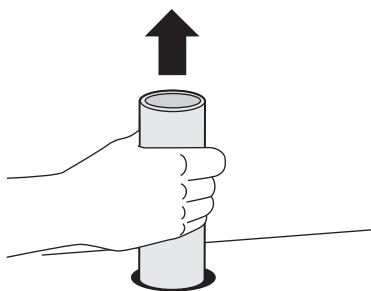
1 床立ち上げ配管の場合

床立ち上げ
配管



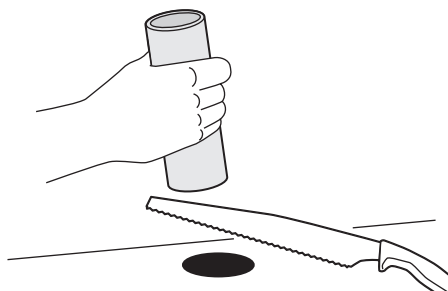
● 排水管を上下に動かせる場合

1) 排水管を上方に引っ張ります。

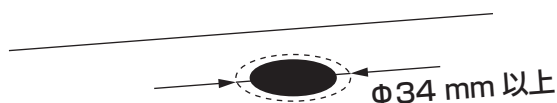


2) キャップ時の床の出っ張りを抑えるため、片手で排水管を上方に引っ張ったまま排水管をカットします。

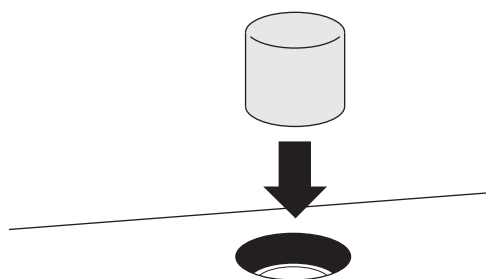
※引っ張り過ぎると排水管にキャップできないので注意してください。



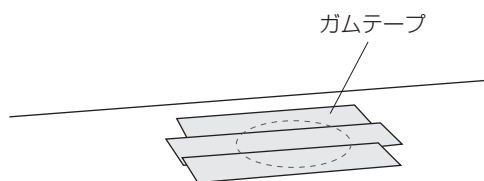
3) カット後の排水管にキャップできるような下穴加工 (Φ34 mm 以上) を行います。



4) カットした排水管の上端にキャップし、仕舞い処理を行います。このとき、床上からキャップがはみ出さないようにしてください。

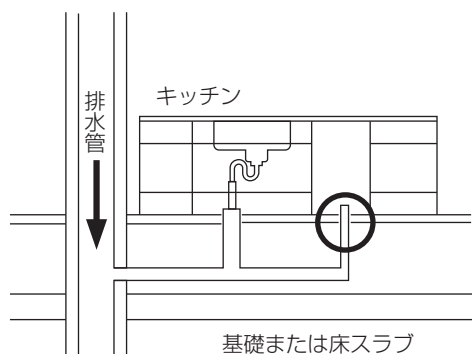
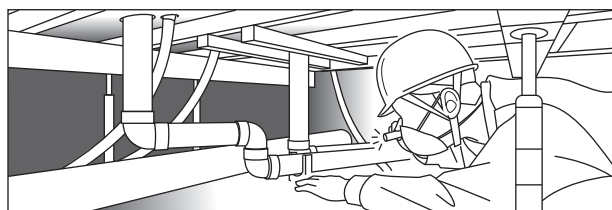


5) 仕舞い処理が終わったら、設置の邪魔にならないように上からガムテープなどを貼り付けます。



●排水管が固定されている場合

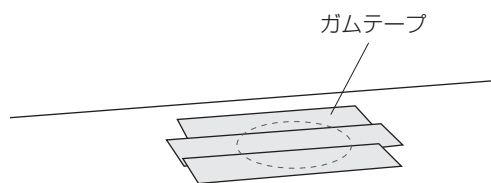
- 1) 近くの点検口から床下に潜り込み、下図の床下配管部の○印部分をカットします。



- 2) 排水管の上端にキャップし、仕舞い処理を行います。

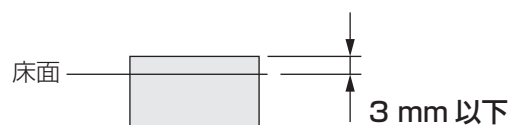


- 3) 仕舞い処理が終わったら、設置の邪魔にならないように上からガムテープなどを貼り付けます。



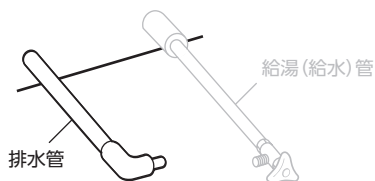
【参考】

TS キャップが床から出てしまう場合、出代は1～3 mm 以内になるようにしてください。

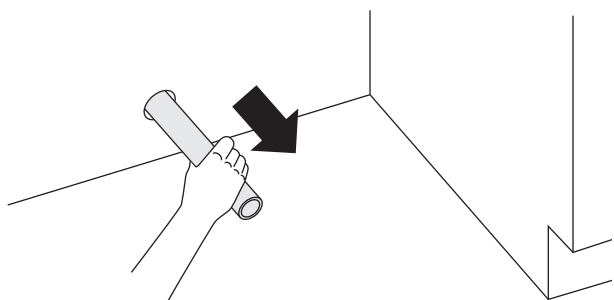


2 壁出し配管の場合

壁出し配管



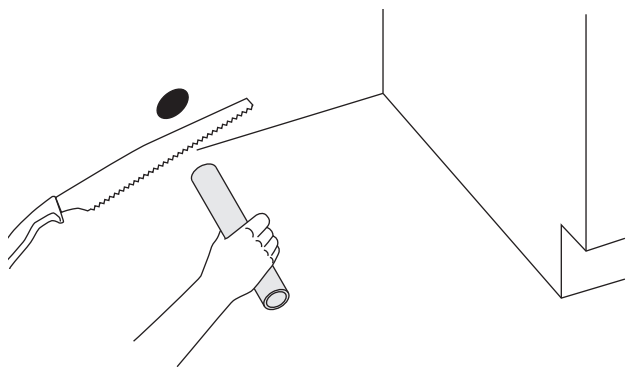
- 1) 排水管を前方に動かせることを確認します。



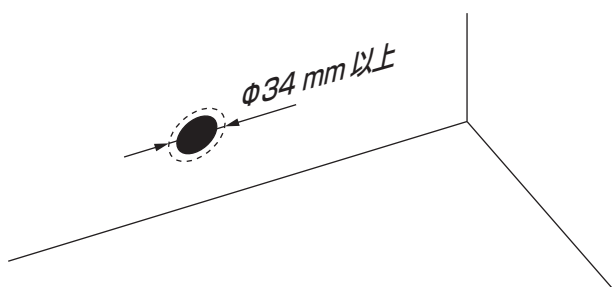
- 2) 排水管を片手で前方に引っ張ったまま排水管をカットします。

排水管を前方に動かせない場合は、可能な限り短くなるようにカットします。

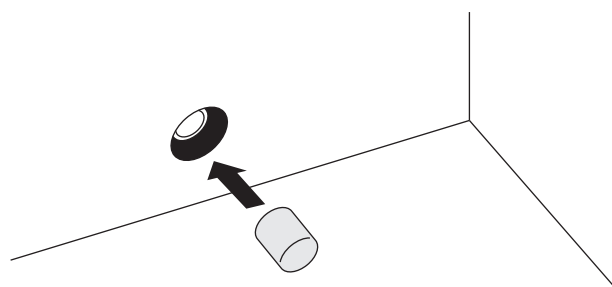
※引っ張り過ぎると排水管にキャップできないので注意してください。



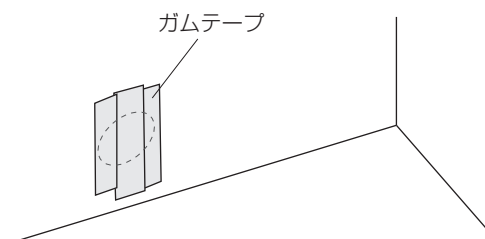
- 3) カット後の排水管にキャップできるような下穴加工 (Φ34 mm以上) を行います。



- 4) カットした排水管の先端にキャップし、仕舞い処理を行います。このとき、壁からキャップがはみ出さないようにしてください。

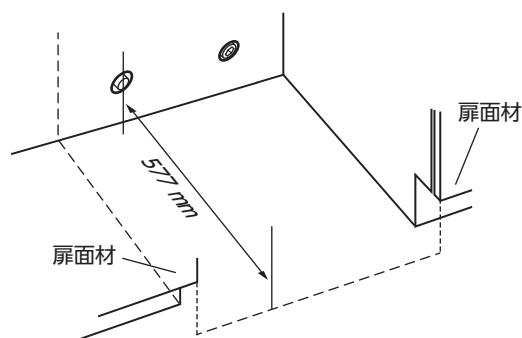


- 5) 仕舞い処理が終わったら、設置の邪魔にならないように上からガムテープなどを貼り付けます。



【ご注意】

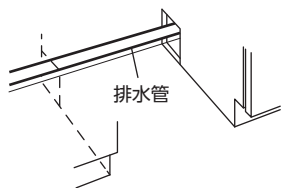
TS キャップが壁から飛び出してしまう場合、隣接扉面材の前面からキャップの先端まで577 mm以上 (※) 確保できているか確認してください。確保できない場合は、食洗機と排水管が干渉し設置できません。



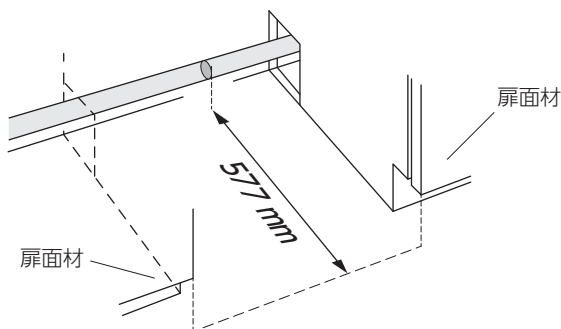
※扉材の最大厚み21 mm + ライン取っ手スペーサ4 mm + 本体奥行551.5 mm = 577 mm

③ 床ころがし配管 (横引き配管) の場合

床ころがし配管 (横引き配管)



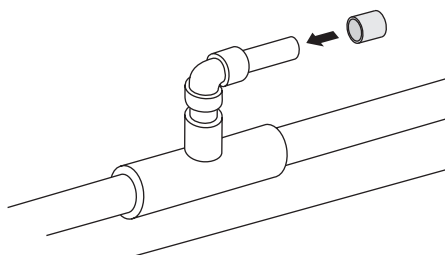
- 1) 隣接扉面材の前面からキャビネット内を横切る排水
管まで、577 mm 以上 (※) のスペースがあることを
確認する。



【ご注意】

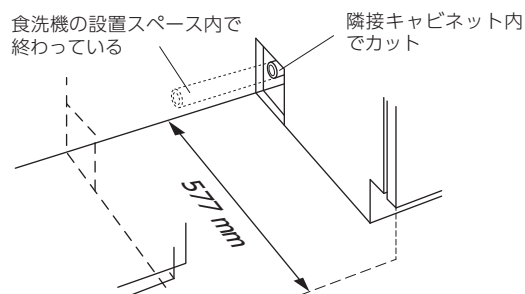
577 mm 以上 (※) のスペースがない場合は、食洗
機と排水管等部材の干渉により設置できません。

- 2) 隣接するキャビネットに排水管 (HT20) が施設され
ている場合、排水管の先端にキャップし、仕舞い処
理を行います。
別売りの排水接続キット (N-KH52) を使用すれば、
既設の排水管を再利用できる場合があります。



【参考①】

十分なスペースを確保できなかった際は、壁面から扉面
材までの距離が 577 mm 以上 (※) であり、排水管が
設置スペース内で終わっているかを確認してください。
その場合、隣接キャビネット内で排水管をカットするこ
とで設置が可能になります。

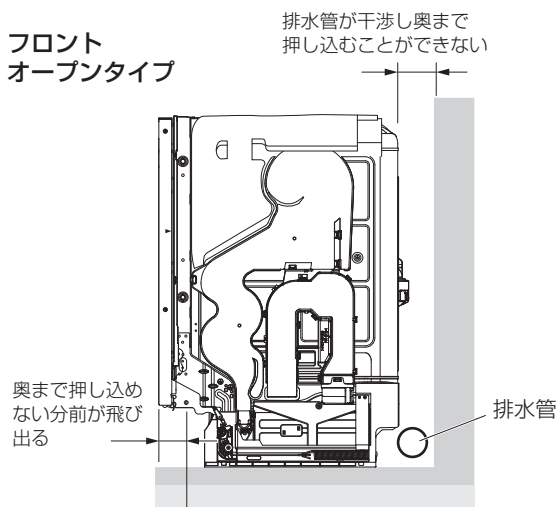


【参考②】

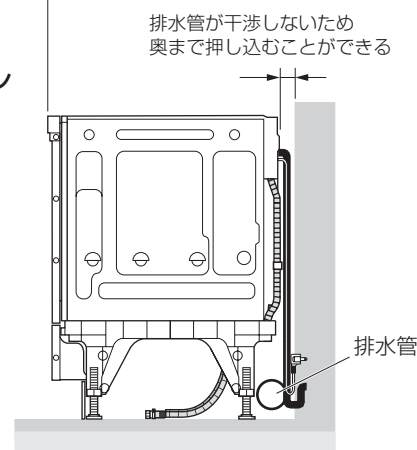
フロントオープンタイプは最大限の庫内容量を確保する
ために奥まで庫内になっており、排水管と干渉してしま
います。そのため、隣接扉面材の前面から排水管まで 577
mm 以上 (※) のスペースがあるキッチンにしか設置する
ことができません。

一方、プルオープンタイプは庫内容量よりも設置性を重
視しているため、排水管に干渉せず設置できます。

フロント オープンタイプ



プルオープン タイプ



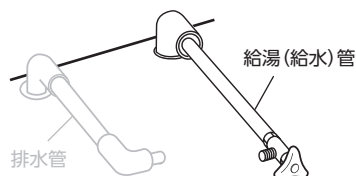
※扉材の最大厚み 21 mm + ライン取っ手スペーサ 4 mm + 本体奥行 551.5 mm = 577 mm

4 給湯（給水）管周りの仕舞い処理

給湯（給水）管の設置パターンに応じて設置します。
必ず水道の元栓を閉めてから作業を行ってください。

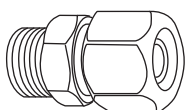
1 床立ち上げ配管の場合

床立ち上げ 配管

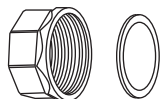


事前に下図の市販のものをご用意ください。

おねじ水栓アダプター
(G1/2 ネジ × 樹脂管 13A 用)

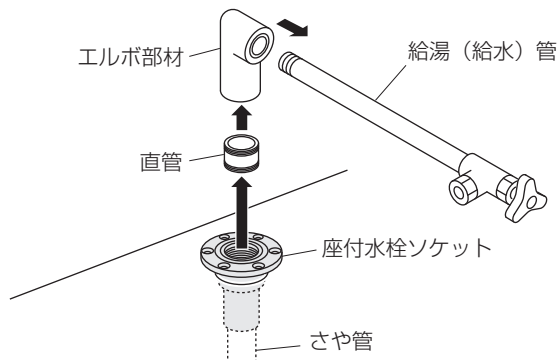


パッキン付き袋ナット
(ネジ径 G1/2)

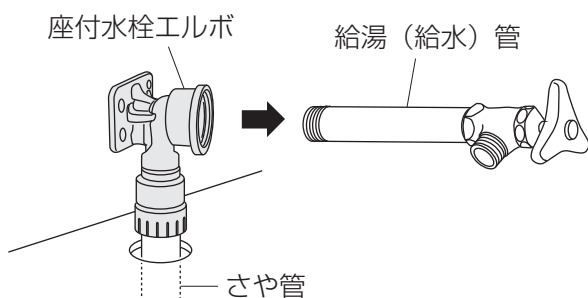


- 1) 床上の先端につながる配管（水栓等）を取り外します。

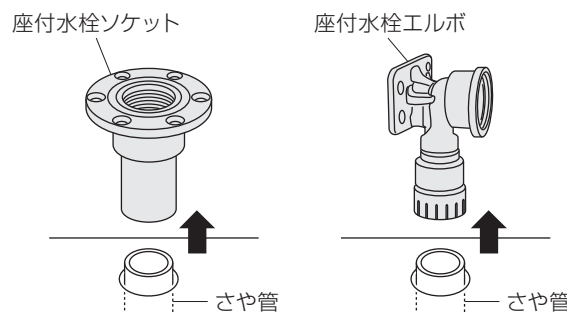
座付水栓ソケットの場合



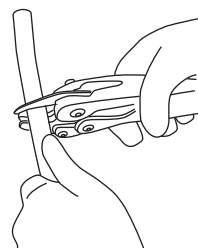
座付水栓エルボの場合



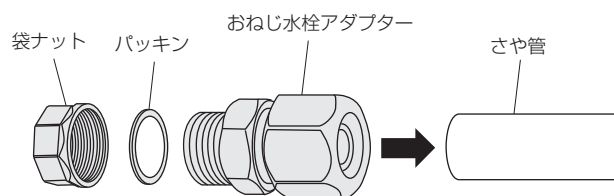
- 2) 座付水栓ソケットや座付水栓エルボを床上に持ち上げ、さや管（ポリエチレン管）から取り外します。



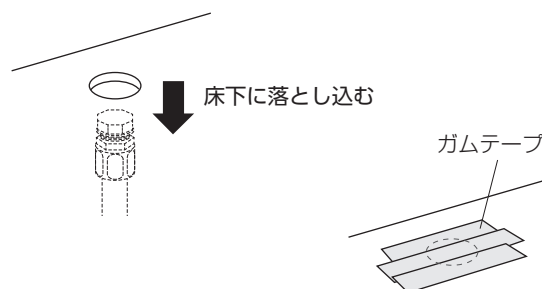
- 3) さや管（ポリエチレン管）が長い場合は、床下に落とし込めるような長さまでカットします。



- 4) さや管（ポリエチレン管）の先端にアダプターを取り付けて袋ナットで止水処理します。
※袋ナット取り付けの際は必ずパッキンも取り付けてください。

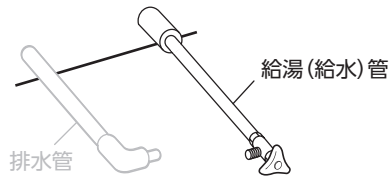


- 5) 止水処理後、水道の元栓を開けて水漏れがないことを確認し、元栓を閉めてから床下に落とし込みます。設置の邪魔にならないように上からガムテープなどを貼り付けます。



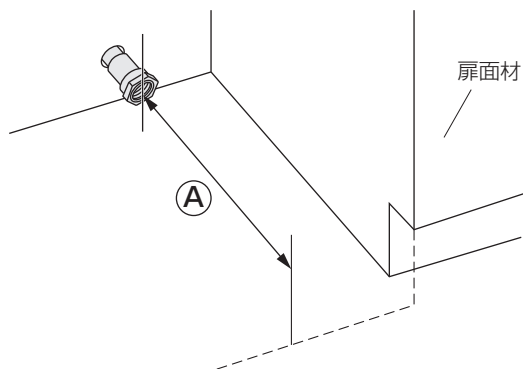
② 壁出し配管（フランジ接続）の場合

壁出し配管 （フランジ接続）

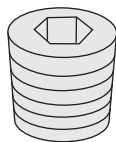


壁出し配管の長さによって事前に用意する部材が異なります。

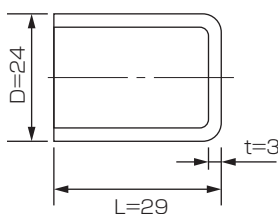
隣接扉面材の前面からテーパネジの出代までの距離を①とします。



①が577 mm (※) 以上の場合、テーパネジ (PT1/2) を用意します。



①が577 mm (※) 未満の場合、呼径13のTSキャップを用意します。

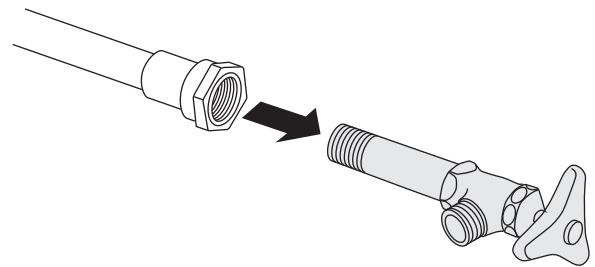


参考) TSキャップI型
(JIS K 6743)

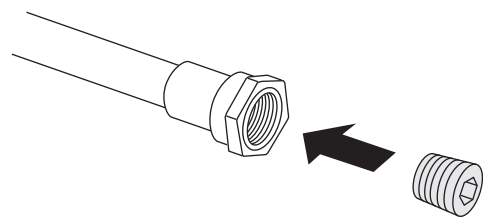
呼径	記号	D	t	L
13		24.0	3.0	29.0

● ①が577 mm (※) 以上の場合

1) 先端につながる配管（水栓等）を取り外します。

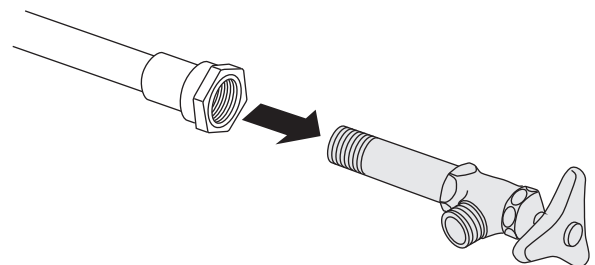


2) テーパネジ (PT1/2) にシールテープを巻き付けて、フランジにねじ込み止水処理します。

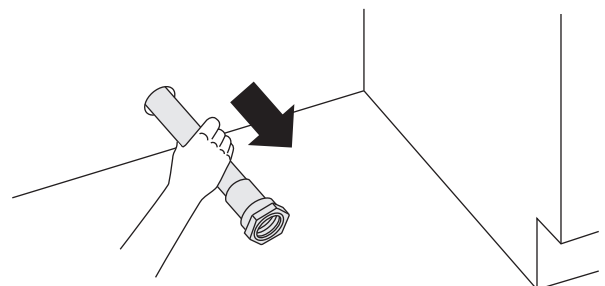


● ①が577 mm (※) 未満の場合

1) 先端に繋がる配管（水栓等）を取り外します。



2) 給湯（給水）管を前方に動かせることを確認します。



※扉材の最大厚み 21 mm + ライン取っ手スペース 4 mm + 本体奥行 551.5 mm = 577 mm

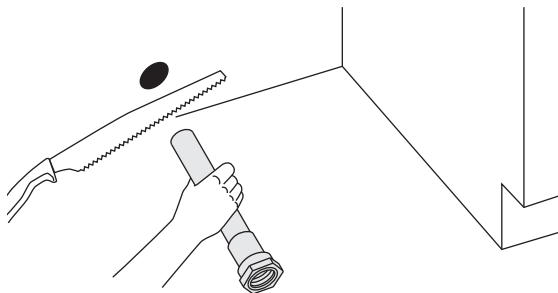
1 買替え施工の手順

NP- 45EF1WPE

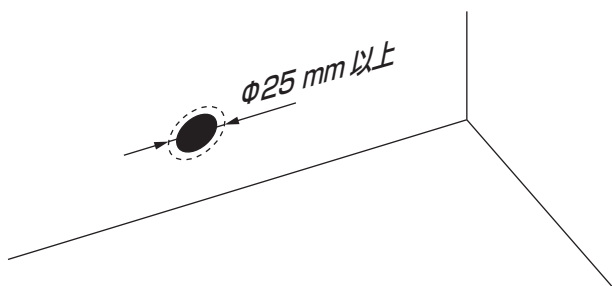
幅45^{cm}
機種

- 3) 給湯（給水）管を片手で前方に引っ張ったままカットします。カット後に給湯（給水）管が壁面から飛び出していないことを確認します。

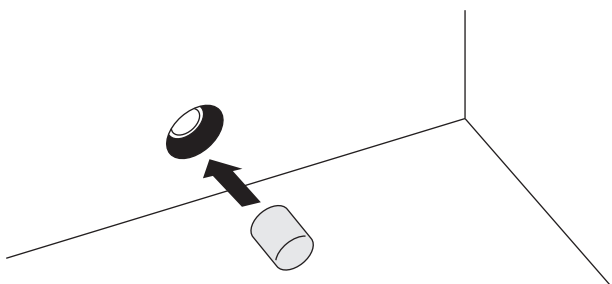
※引っ張り過ぎると給湯（給水）管にキャップできないので注意してください。



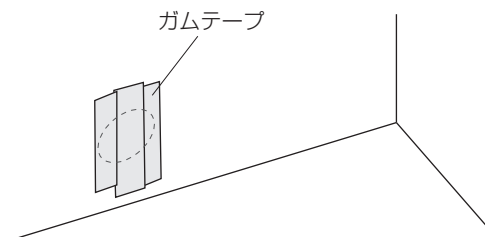
- 4) カット後の給湯（給水）管にキャップできるような下穴加工（ $\phi 25$ mm以上）を行います。



- 5) カットした給湯（給水）管の先端にキャップし、仕舞い処理を行います。このとき、壁からキャップがはみ出さないようにしてください。



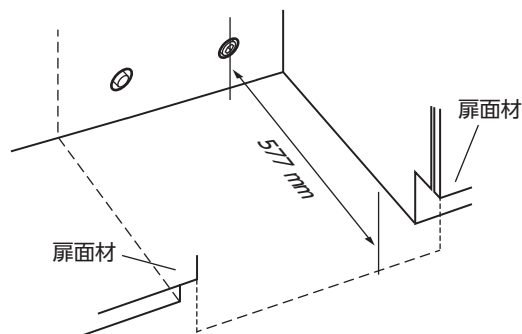
- 6) 仕舞い処理が終わったら、水道の元栓を開けて水漏れがないことを確認し、元栓を閉めます。設置の邪魔にならないように上からガムテープなどを貼り付けます。



【ご注意】

TS キャップが壁から飛び出してしまう場合、隣接扉面材の前面からキャップの先端まで577 mm以上（※）確保できているか確認してください。

確保できない場合は、食洗機と給湯（給水）管が干渉し設置できません。



※扉材の最大厚み 21 mm + ライン取っ手スペーサ 4 mm + 本体奥行 551.5 mm = 577 mm

5 電源コンセントの移設

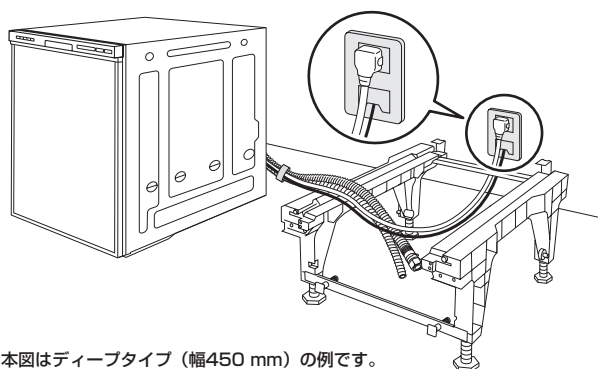
既設食洗機の背面付近に設置されている電源コンセントを撤去して、シンク下のスペースに移設してください。

【ご注意】

電気工事、アース工事はすべて電気工事士の有資格者が、電気設備の技術基準に準じて行ってください。

1 電源コンセントの撤去

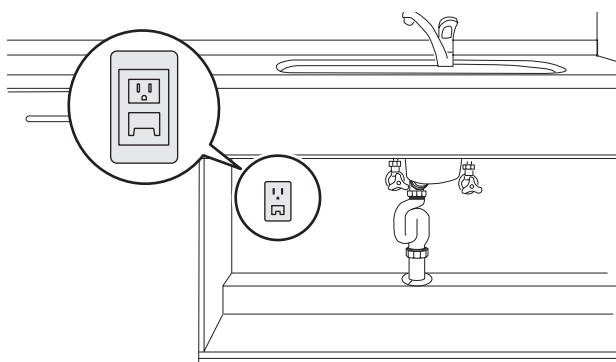
- 1) 既設食洗機の背面にある電源コンセントを撤去します。



本図はディープタイプ（幅450 mm）の例です。

2 電源コンセントの移設

- 1) シンク下のスペースに電源コンセントを移設します。
電源コンセントは、定格表示125V、15Aの露出形または埋込形のアースターミナル付接地極付コンセントを使用してください。



【ご注意】

- ・電源コンセントは必ず単独でご使用ください。
他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。
- ・既設の食洗機と新設する食洗機の定格電源電圧を確認してください。

- 2) 電源コンセントは、本体の電源コードの長さ（約1.4 m）が届く範囲内で、メンテナンス上プラグの脱着しやすい位置に設置してください。

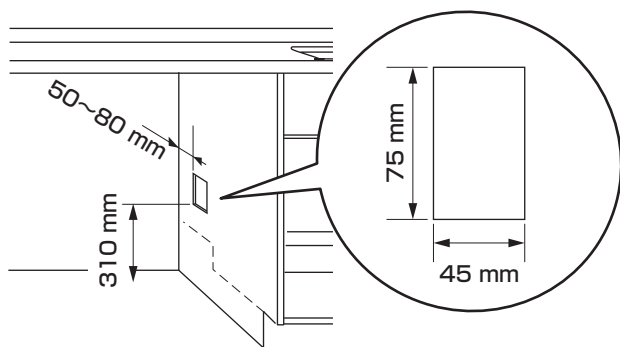
◆アースの工事が必要な場合

- コンセントにアース端子がない場合、販売店か電気工事店にアース工事を依頼してください。
- 電気設備技術基準に基づき、必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。
- ガス管・水道管・電話・避雷針のアース回路や、漏電しゃ断器を入れた他の製品のアース回路には接続しないでください。（法令により禁止）

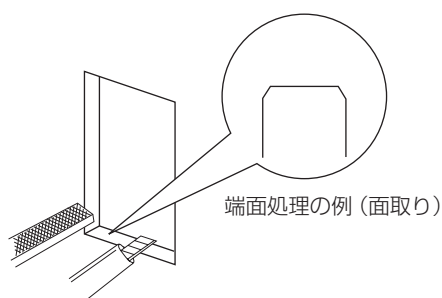
6 給・排水ホースの通し穴の加工

1 給・排水ホースの通し穴の加工

- 1) 食洗機を設置するキャビネット側面に給水ホース・排水ホース・電源コードなどを通すための貫通穴 (75×45) を下図の位置にあけます。



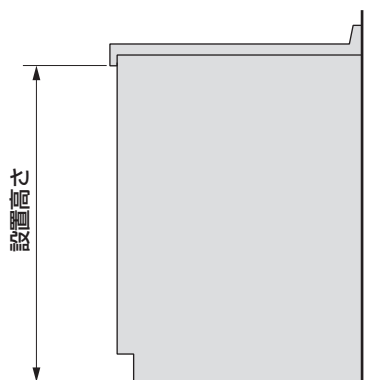
- 2) 貫通穴の端面を、カッターややすりなどでバリがないように処理します。



7 入替機器の準備と設置

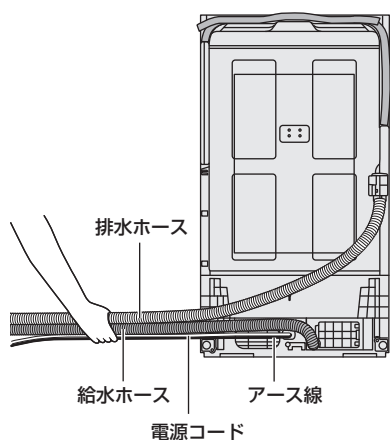
本体・付属品を確認のうえ、取付設置説明書に基づいて設置します。

1 本体設置高さの確認

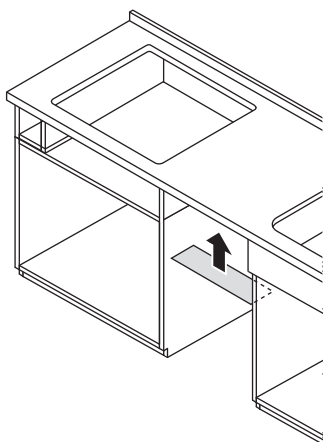


※ キッチンの高さや隣接ケコミの高さにより、本体の設置高さが異なります。詳しくは取付設置説明書を参照ください。

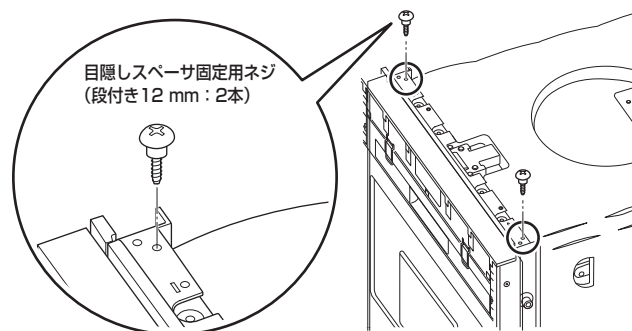
2 ホース・コード類の処理



3 保護シート（ワークトップ用）の取り付け

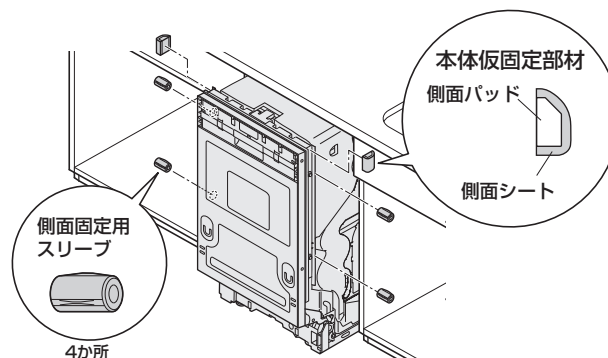


4 本体への目隠しスペーサ固定用ネジ取り付け



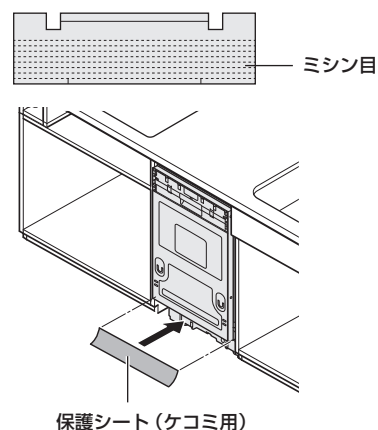
※ キッチンの高さにより不要な場合があります。詳しくは取付設置説明書を参照ください。

5 本体のビルトイン



※ 側面固定用スリーブは、外側または内側のどちらからでも取り付けすることができます。
※ 本体仮固定部材は、本体とキャビネット間の緩衝材になります。

6 保護シート（ケコミ用）の取り付け



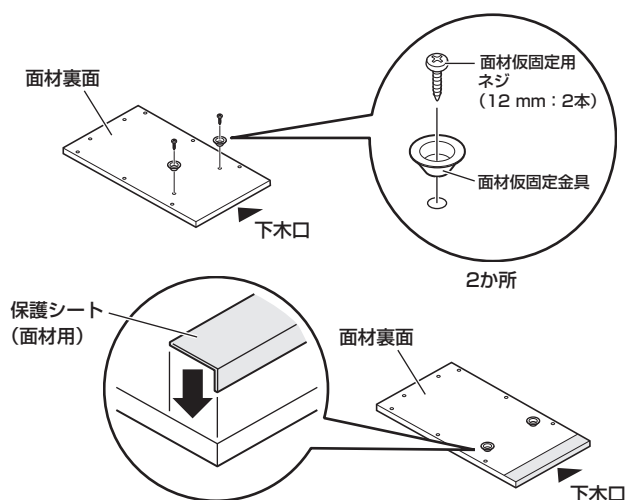
1 買替え施工の手順

NP-45EF1WPE

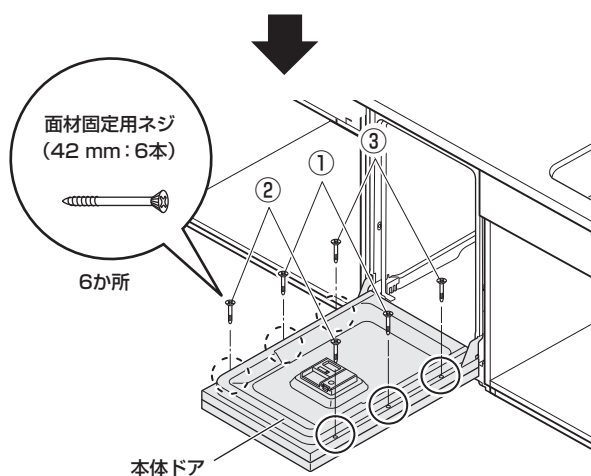
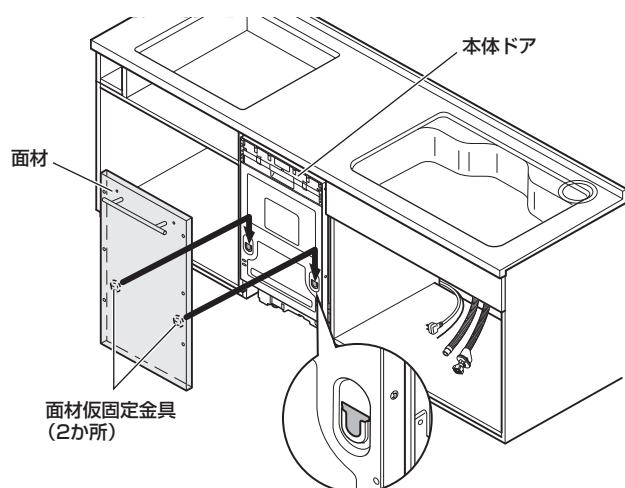
幅45cm
機種

7 本体への面材取り付け準備

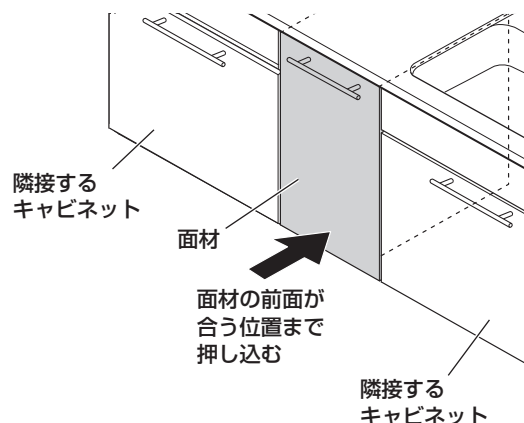
<面材は別途準備してください>
※別売りの面材もございます。



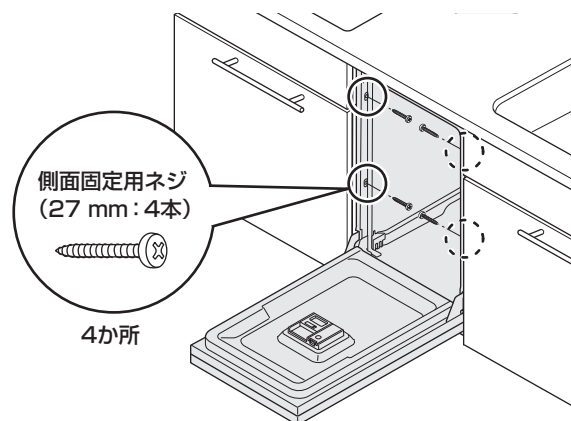
8 本体への面材取り付け



9 本体と隣接キャビネットの位置調整

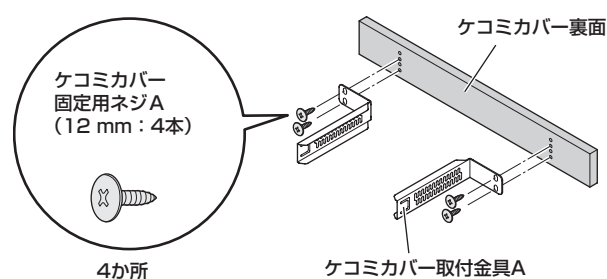


10 本体の固定

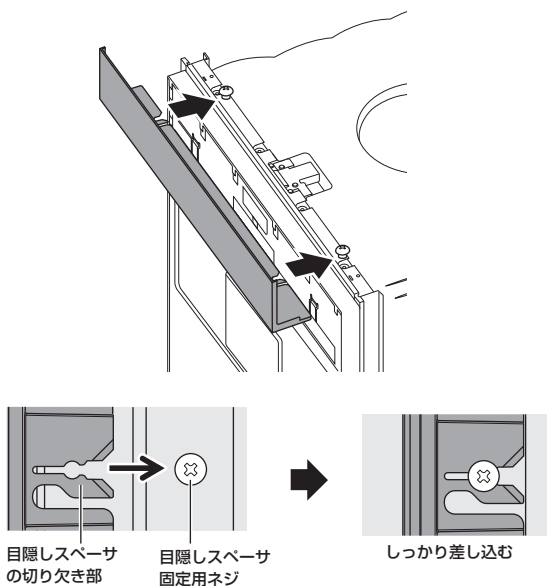


11 ケコミカバーの取り付け

<ケコミカバーは別途準備してください>
※別売りのケコミカバーもございます。



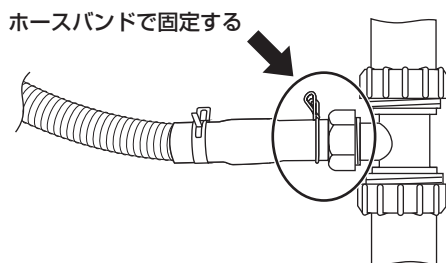
12 目隠しスペーサの取り付け



※ キッチンの高さにより不要な場合があります。詳しくは取付設置説明書を参照ください。

13 排水ホースの接続

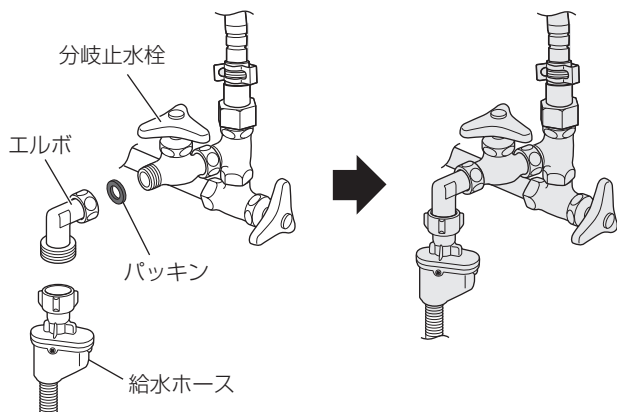
＜別売りの給排水接続キット (N-KH51) または排水接続キット (N-KH52) をご使用ください＞



14 給湯 (給水) 管との接続

＜別売りの給排水接続キット (N-KH51) または排水接続キット (N-KH52) をご使用ください＞

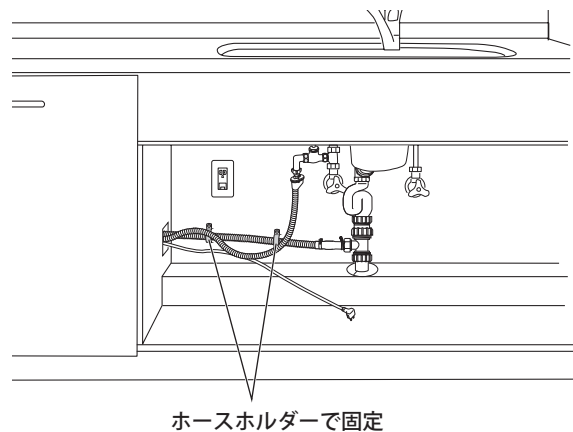
※排水接続キット (N-KH52) をご使用の際は、分岐止水栓とホースホルダーは別途準備してください。



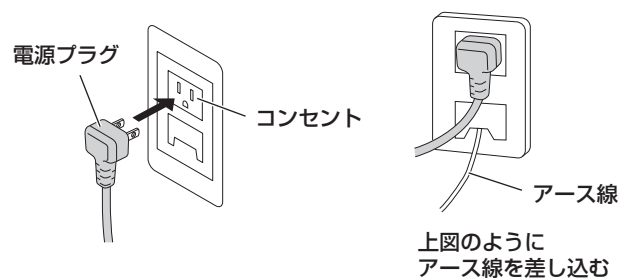
15 給水・排水ホースの固定

＜別売りの給排水接続キット (N-KH51) または排水接続キット (N-KH52) をご使用ください＞

※排水接続キット (N-KH52) をご使用の際は、分岐止水栓とホースホルダーは別途準備してください。



16 電源コード・アースの接続



17 試運転を行う



18 確認を行う

水漏れ確認 (矢印の箇所)

